

廃炉人材育成研修について

令和4年2月25日
第10回廃炉研究開発連携会議

日本原子力研究開発機構
福島研究開発部門
廃炉環境国際共同研究センター

1. 概要

原子力損害賠償・支援機構から引き継ぎ、3回目となる「令和3年度廃炉人材育成研修」を実施。第8回廃炉研究開発連携会議における社外共通研修体制構築の提言を受け、1F廃炉に携わる地元企業やメーカー等の技術者等(設計者、技術者、研究者)、大学等に所属する研究者の方々を対象に、「1F廃炉全般に関わる基礎知識の習得」、「1F廃炉に携わる技術者等が共通して有することが望ましい技術の習得」を目的とした「廃炉人材育成研修」を令和元年より開催している。今年度は昨年同様、オンライン/オンデマンド方式による研修を開催した。

2. 開催日

① オンライン研修

令和4年1月19日(水)～21日(金)

web会議を利用したオンラインセミナー形式での開催

② オンデマンド研修

令和4年2月7日(月)～3月31日(木) (申込期間:1月31日～3月28日)

①の録画配信によるオンデマンド研修とし、受講者の希望に沿った日時、講座が受講可能

3. 開催体制

主催: 日本原子力研究開発機構

後援: 原子力損害賠償・廃炉等支援機構

福島県

福島イノベーション・コースト構想推進機構

福島相双復興推進機構

4. 申込者数

オンライン研修: 45名

オンデマンド研修: 受講者募集中

5. 研修カリキュラム

基本的な研修カリキュラムの構成は基本的に昨年度を踏襲しているが、「放射性物質の取扱い」では昨年度のアンケート等を基に対象核種を α 線放出核種から全ての放射性物質とするなど研修カリキュラムの一部を見直すとともに、処理水等に関する取り組みなど最新の動向を取り込んだテキストの見直しを行った。

6. 主なプロモーション活動

- 英知事業採択者への周知
- 各種学会等を介した学会員への紹介
- 後援機関を介した関連組織への紹介
- 実行委員、講師を介した関連組織への紹介 など

7. 謝辞

本研修の開催にあたり、経産省、NDF、IRID、電中研、TEPCOの講師の皆様には、テキスト作成の無償対応など多大なご協力を賜り、心より感謝する。

【1月19日(水)】

13:15～13:35	開講挨拶、オリエンテーション
13:35～14:00	1F事故の内容と現在の1Fサイト状況(東京電力ホールディングス株)
14:05～14:40	各号機の炉内状況(東京電力ホールディングス株)
14:45～15:20	1F廃止措置等に向けた中長期ロードマップ(経済産業省)
15:25～15:50	1F廃炉のための技術戦略プラン2021(原子力損害賠償・廃炉等支援機構)
15:50～16:05	休憩
16:05～16:50	廃炉中長期実行プラン2021(東京電力ホールディングス株)
16:55～17:30	廃炉中長期発注見通し(東京電力ホールディングス株)
17:35～18:30	海外における炉心溶融を伴う事故事例(原子力損害賠償・廃炉等支援機構)

【1月20日(木)】

13:15～14:10	レガシーサイト(ー海外核汚染サイトのデコミッショニングー)(電力中央研究所)
14:15～15:10	廃炉研究開発の状況(廃炉・汚染水対策事業)(国際廃炉研究開発機構)
15:10～15:25	休憩
15:25～16:20	遠隔操作技術ー高線量率下で動作可能なロボットの技術ー(国際廃炉研究開発機構)
16:25～17:20	燃料デブリ取り出し時の臨界管理技術(国際廃炉研究開発機構)

【1月21日(金)】

13:15～13:40	廃炉研究開発の状況(英知事業他)(日本原子力研究開発機構)
13:45～14:40	燃料デブリの性状理解(日本原子力研究開発機構)
14:40～14:55	休憩
14:55～15:50	放射性物質の取扱い(日本原子力研究開発機構)
15:55～16:50	1F放射性廃棄物の特徴、取扱いとその分析技術(日本原子力研究開発機構)
16:50～16:55	閉講挨拶

※ ()内は講師所属機関